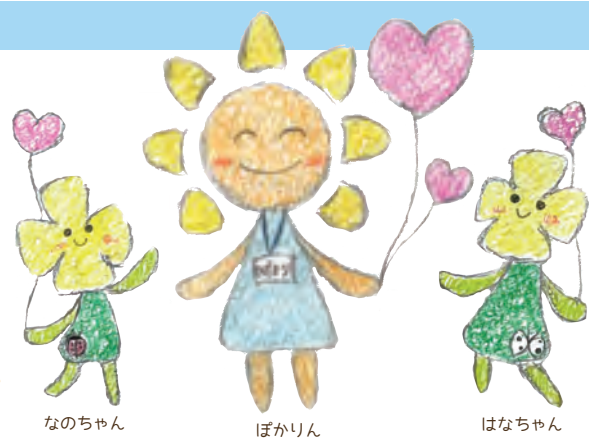


ひだまり

ニュース

2023年 7月
夏春号



あつまり



ひだまりでは、誰かと繋がることの楽しさや安心を感じてもらうために、性別や年齢を問わず、様々な方とふれあえる場を目指し、



2021年より「あつまり」と称し、隔月で居場所づくりのイベントを開催しています。

会場は毎回、館山コミュニティセンター 1 階和室をお借りしています。

昨年度まではコロナ禍の影響で 2 回程が惜しくも中止になりましたが、今年に入り、3 月 30 日（木）と 5 月 29 日（月）の 2 回開催することができました。

3 月 30 日（木）いつもこの「あつまり」に足を運んでくださる方が自ら「私が講師をします」と言ってくださり、5 月の節句に向け、フェルト製のこいのぼりを作りました。その他の方々は、ジェンガ・トランプ・けん玉・職員による手品を行う等、皆で楽しいひと時を過ごしました。

その後、桜の時期ということもあり、お花見を兼ね散歩へ。コミセン周辺の散歩をしながら、たわいもない話をし、とても気持ち良かったです。

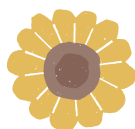


5 月 29 日（月）コロナウイルス感染症が 5 月 8 日（月）から「5 類感染症」になったことを受け、この「あつまり」でも規制を緩和して開催することになりました。体調良好で、マスクの着用があれば参加可能になると、一気に参加人数が増え、職員を含め、14 名の参加となりました。福祉関係機関の職員参加と、医療機関の医師の参加もあり、大変盛り上がりしました。



この回は、人生ゲーム・ジェンガ・折り紙・フォトフレーム作りを行いました。皆さん楽しい一時を過ごすことが出来、「次回はいつ？」と心待ちにしてくださいる方もあり、職員もこの日をとても楽しみにしています。まだ、大盛況とまでは言えませんが、初めて来てくださる方の参加が少しずつ増え、賑やかになってきています（^▽^）

今後も「あつまり」は、隔月で開催をする予定です。居心地の良い環境を目指し、楽しい一時を過ごして頂ける様、職員一同頑張ってます。次回は 7 月下旬の開催を予定しています。



社会福祉法人
太陽会

千葉県中核地域生活支援センター
ひだまり

ひだまりは、千葉県からの委託で社会福祉法人太陽会が運営しています。

2023.7.15 発行（不定期発行）

この広報紙に関するお問い合わせは…

☎ 0470-28-5667 まで

～ ステーション ～



鴨川市教育センター「ステーション」で主任学習指導員を務めておられた加藤恵子先生が、令和5年4月1日に一般社団法人にじいろはうすを開設し、併せてフリースクール「ステーション」、相談支援事業所「にじいろはうす」を鴨川市にスタートされました。障害の有無にかかわらず、学びづらさや生きづらさを感じている子どもたちとその家族へ、学校に復帰することだけを目指すのではなく、「社会的な自立を目指すこと」も含めて支援をされています。

令和6年2月頃には子ども第3の居場所「コミュニティモデル」、4月には放課後デイサービス等の開設の準備を進めているそうです。子どもたちや家族が気軽に相談できる場所として今後も益々発展していく予定です。



問い合わせ先 「にじいろはうす」：04-7096-6423
050-3595-7014

～ ぱれっと ～



南房総市教育相談センターでは、令和5年4月から南房総市丸山分庁舎に発達相談室「ぱれっと」が開設されました。放課後の時間を利用して、子どもの発達に合わせたSST（ソーシャルスキルトレーニング）、遊び等を通して社会生活をおくるために必要なスキル・個性を育てる活動を行っています。特別支援教育に携わった元教員の先生方が「特別支援教育相談員」として関わるので、学校との連携体制も整っています。家族の負担軽減を図るため、学校まで子どもたちを迎えに行きますが、帰りは家族の理解を深めてもらうために迎えに来てもらい、その場で情報共有を行っています。「ぱれっと」はその名の通り、子どもたちの個性（色）が集まって新しい可能性が生まれる場となっています。



問い合わせ先 ぱれっと：0470-46-2966

南房総ひきこもり支援協議会



6月19日（月）に菜の花ホールにて南房総ひきこもり支援協議会主催による意見交換会「誰も孤立させない街づくり」が行われました。

高齢、障害分野にとどまらず、教育関係や行政等、幅広い分野からの参加があり、ひきこもり支援についての関心の高さが伺える場でもありました。

前半は各支援団体からの活動報告、後半はフリートークが行われ、活動報告では、ひだまりを含め、ひきこ

もり支援協議会、家族会、病院、地域包括支援センターと様々な分野からの発表があり、やはり、ひきこもり支援はどこかひとつの機関だけが対応すれば良いということではなく、理解者を増やすことや、溶け込みやすい環境・地域を創っていくことが必要だということを再確認しました。

ひだまりでは、ひきこもり支援の際には、決して無理強いせず、ゆっくり時間をかけて、関係性を構築することを重視しています。ご家族や他支援者から見ると、なかなか結果が出ずに焦りやもどかしさを感じることもあると思うのですが、問題解決型のみの支援に捉われず、伴走型、寄り添い型を意識して今後も支援していければと考えています。

地域自立支援協議会 相談部会 「福祉マップ完成」

毎年更新している「安房圏域障害者福祉資源マップ」が今年も出来上がりました。

今年度は新規開設事業所等も多く、延べ160件以上の社会資源の掲載があります。日中活動系のページにおいては児童分野を分けるなど、見やすい工夫もしておりますのでぜひご活用ください。

3市1町のホームページよりご覧いただけます。



館山市



南房総市



鴨川市



鋸南町

グループホーム等支援ワーカーだより

安房地区の新規グループホームを紹介します！

合同会社てんじん 障害グループホーム南天

定員6名 男性1階・女性2階 現在、募集しています！随時、見学可能です。

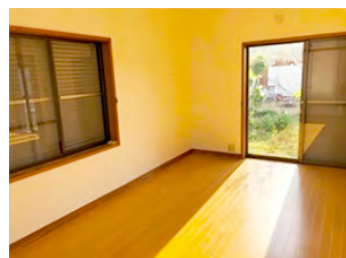
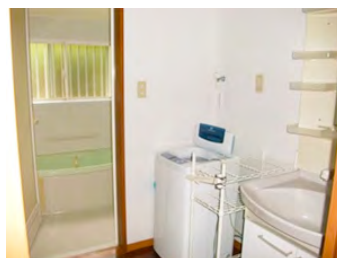
令和5年1月、西岬早物に開設しました。GH南天は、障害のある方で重度ではない元気な方を対象にしています。

お部屋は6畳から8畳まで各部屋には天袋までの押し入れがついていますので、荷物の多い方でも安心です。また、入居時の敷金等の初期費用は低額です。

近隣は交番、消防署、郵便局、神社、お寺など施設がありますが、残念なことにコンビニはありません。小さな商店はあります。診療所もあります。

各種アクティビティを充実させています。農作業・漁師体験・釣り・散歩・裁縫・お祭り・お寺の草取りに参加させてもらうなど、本人様の意向を踏まえて活動しています。

愛着障害などの利用者さんの状態に合わせた支援を実施しています（超面倒見ます）。



場所：館山市早物 12-3

☎ 0470-29-7752

管理者

田張一夫

090-9008-6411

代表・サビ管

杉山あゆみ

090-3301-0710

～ グループホームの晩ごはん ～



障害があっても地域の中で自分らしく生活していくために、安房圏域には現在グループホームが沢山あります。前回号からそれぞれのグループホームの夕食のメニューを、“隣の晩ごはん”形式（知る人ぞ知る）で紹介しています。

今回は【社会福祉法人薄光会ひなたホームズ】の夕食を覗いてみようと思います。ひなたホームズには、『まるあんホーム』と『おくにあん』と言う2カ所のホームがあります。下記の写真は、ある日の夕食メニューです。



ご飯
お味噌汁
鶏肉のトマトソース煮
サラダ



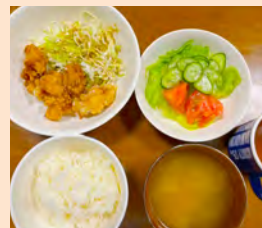
ご飯
お味噌汁
鮭のムニエル
タラモサラダ



麻婆丼
お味噌汁
シュウマイ



ご飯
お味噌汁
鶏肉の胡麻マヨ焼き
海藻サラダ



ご飯
お味噌汁
鶏の唐揚げ
トマトサラダ

あわの虹 交流会

「あわの虹」は視覚障害者とそのご家族のための会です。
コロナ渦の活動自粛期間を経て、今年3月より活動を再開しています。
今後も3か月毎に交流会を開催予定です。
会長は自身の視覚障害の悩みをきっかけに、意欲的に活動を進めています。
6月は4日（日）午前10時より、菜の花ホールにて開催しました。



以下は会長によるレポートです。

「参加者は17人で当事者4人、家族5人、支援者8人でした。初めて参加された方を中心にお話を伺いました。参加者の経験や福祉職の方の助言など、新たな一歩に向けて情報交換しました。見えなくなってからどこを頼ったらいいいのかわからないという方は多いです。後半は「同行支援事業所ひかり」の方から利用方法について教えて頂きました。同行支援は私達視覚障害者の大きな助けになります。交流会に参加できなくても、見えない、見えづらいことでお困りの際はお声がけください。」

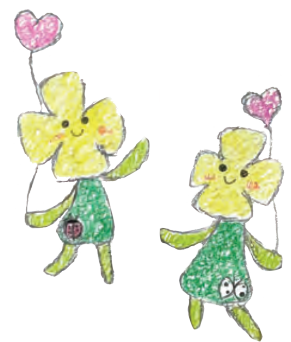
次回は9月の予定です。当事者やその家族が身近にいたら、是非「あわの虹」を紹介してください。

あわの虹事務局：090-5577-3162

千葉県中核地域生活支援センター大会 in 2023 のお知らせ

総合相談って何？～相談支援の根っこを考える～

- (1) 2022 年度千葉県中核地域生活支援センター事業 実績報告
 - (2) 基調講演 「相談支援の根っこを考える」
講師：空閑浩人さん 同志社大学社会学部教授・日本社会福祉学会会長
 - (3) パネルディスカッション 「私が考える総合相談・相談支援」
コーディネーター：朝比奈 ミカさん 市川市よりそい支援事業がじゅまる＋市川市生活サポートセンターそら
- コメンテーター：空閑 浩人 さん
登壇者：伊藤 英樹 さん / 井戸端元気（木更津市）
梅澤 岳 さん / 浦安市社会福祉課課長
岡田 まゆみ さん / 安房地域生活支援センター施設長
前北 海 さん / NPO 法人多様な学びプロジェクト
渋沢 茂 さん / 千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会会長
- 日時：2023 年 8 月 21 日（月）13 時～17 時（ログイン開始：12 時 45 分～）
場所：千葉県社会福祉センター 千葉市中央区千葉港 4-5
参加費：無料
共済：千葉県 千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会



近年では包括的な相談支援の必要性が謳われ、法整備もされ、全国各地で様々な有用な実践がなされています。しかし足元に目を落してみると、総合相談や包括的相談支援とは自分たちの自治体に必要なのか、どのように進めたらよいのか、迷いや手探りの中で進められている自治体もあるのではないのでしょうか。そもそも総合相談って何なのでしょう？

本大会は、中核センターのこれまでの実践と相談支援の時流を考えあわせながら、これからの相談支援のあり方を問い、明日からの実践の手掛かりとすることを目的として開催いたします。

相談支援に関わる多くの皆様方のご参加をお待ちしています。

※今回は会場とオンラインでの参加が可能です。申し込みは右上の QR コードよりお願いいたします。



ひだまり掲示板

ひだまりからのお知らせ

ひだまりでは、子どもや障がい者、高齢者といった枠を取り払い、一人ひとりの状況にあわせて、公的機関、民間事業者、福祉グループなどが行なう様々な福祉サービスのコーディネートや、福祉の総合相談、権利擁護活動等をおこなっています。

ご相談は 24 時間・365 日体制で受け付けています。ご相談方法は、電話やメール、ご自宅へ訪問、ひだまりへの来所など。個人情報はお守りしていますが、気になる方は匿名でのご相談もできます。

お気軽にご相談ください。



広報紙「ひだまりニュース 2023 年夏号」2023.7.15 発行

【編集・発行】千葉県中核地域生活支援センターひだまり 〒294-0014 千葉県館山市山本 1155

TEL.0470-28-5667 FAX.0470-28-5668 E-mail: hidamari@s-taiyou-kai.jp



ひだまりのホームページ